

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 新居浜市立中萩小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒792-0045

愛媛県新居浜市中萩町6番61号

E-mail ngie@esnet.ed.jp

Website http://nakahagi-e.esnet.ed.jp/cms/

幼児児童生徒数 男子 493名 女子 448名 合計 941名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「伝えよう！地域のよさを」を活動テーマとして、ESDを「生きる力の育成」と捉え、ESDの実践を通して、児童に「思考力」「情報活用能力」「コミュニケーション能力」を身に付けさせながら、「人間の尊重」「多様性の尊重」「環境の尊重」という価値観を培い、積極的に活動に参加する力の育成を目標とした。

具体的には、地域学習、環境学習を柱に、①地域に係わる学習、②防災に係わる学習、③環境に係わる学習を行った。

① 地域に係わる学習

3年生では、「中萩大好き いいところ発見」と学年テーマを設定し、公民館に行き館内を見学したり、公民館の人に話を聞いたりしたことを新聞にまとめ、発表会を開いて学級で紹介した。正月には地域の方から七草粥の由来を聞いたり、伝統を守る活動の様子を調べたりした。また、他の校区の施設などを見学し、自分で調べたいテーマや調べる方法を決め、テーマ別のグループに分かれ

② 防災に係わる学習

4年生では、夏休み明けに校区の自主防災訓練に参加し親子で防災について学んだ。これまでは、親子レクリエーションとして活動していたが、地域と一体となって取り組むことができた。BFC 活動とも合わせて年間計画の中に位置付けることができた。3学期には身近な防災ということで、減災の視点に立って校区の道路の幅を調べ、交通事故から身を守る意識を高めることができた。

③ 環境に係わる学習

4年生では、東川河川敷を明るく美しくする活動を通して、植物に関心をもつとともに、地域の環境美化に進んで取り組もうとする意欲と態度を育てた。また、東川河川敷ではミレニアム花壇を中心に地域の方々と協力して、花の苗を植えた。

5年生では、地球上で現在どのような環境問題があるのか話し合いをした。その後、自分の興味・関心に沿って調べる環境問題を決め、学習計画を立てた。自分が立てた学習計画に添って調べ、自分たちが環境を守るためにできることを話し合い、実践していった。また、身近な地域の環境に目を向け、東川河川敷を活動の場として計画を立て、ミレニアム花壇に込められた思いを公民館長に語っていただき、児童の意欲を高めた。そして活動のテーマを決めて東川での活動に取り組んだ。地域の方に指導していただき、蛍の幼虫を育てたり、ミレニアム花壇だけでなく河川敷全体の花壇に自分たちが種から育てたハウセンカを植え、花いっぱい活動を展開した。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input checked="" type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 土曜日など保護者の参加しやすい時間)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESD 年間指導計画を各学年ごとに作成し、主として総合的な学習の時間と生活科の活動に計画を位置付けた。また、ESD のねらいを明確に示し、課題解決型の探究的な学習となるようにし、年度ごとに反省・見直しを行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ESD の年間指導計画を作成することにより、全学年で系統的に取組を実践できるように工夫している。また、環境面では学校横を流れる東川の存在や緑豊かな自然園に恵まれているという面を生かして、計画を作成した。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

毎学期に教職員、年度末には教職員・保護者にアンケートを行い、学校の取組を評価していただいている。また、学校評議員にもアンケートと話し合いで評価していただいて地域からの声を次年度の実践に生かしている。課題としては、地域との連携は図れているが、組織として継続した取組を繋いでいくように指摘していただいた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

年度の活動を振り返って A1 サイズ一枚程度のポスターを作成し、展示している。また、各学年や学級の通信によって保護者に活動を発信している。これまでの環境保全の取組に対しては、地域や保護者から理解と協力を得られている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

校区の公民館を中心に地域との連携を図っている。次年度は中学校との連携を念頭に置いて、コミュニティ・スクールとして今までの実践をどう繋いでいくのかを考えていきたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

市内の学校間では実践したことを発表し合って交流している。教職員の先進地研修として、東京や京都の実践も学んできているので、今後も専門機関等との連携の在り方を検討していきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

学校の特徴として地域の自然環境を中心に環境保全の取組を進めることで、児童の活動への意欲が高まり、ふるさとを愛する心が育ってきていると感じている。また、地域の方も関心をもって見守って下さっている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

本校では「ふるさと学習」として、地域の施設や文化財について学び、3年生では校区にある「白山神社」「広瀬記念館」などの調べ学習や、公民館の働きと地域の人々の活動について学んでいる。また、地域の自然環境についての学びでは、4年生で「東川」の観察をしたり、学んだことをもとに住みよいまちづくりについて考えている。5年生では地球規模の環境問題を学習する中で、生活の中での実践を目指している。